

自問集会、継掃会、そして自問タイムを終えて

11月16日(月)の放送による自問集会で、自問清掃とは「気づきの清掃」であるということを再確認しました。11月17日(火)～19日(木)の3日間の継掃会。他学年との交流の中で新たに気づいたことを、振り返りカードに書きました。12月1日(火)に各クラスで第2回自問タイムを行いました。自分がこれまで積み重ねてきた気づきを振り返り、他学年が書いた振り返りカードを回し読みしました。

「自問タイムを終えて」 各学年代表者

・先輩たちの振り返りカードは、よりレベルが高い清掃ができるようにまわりを見て書かれている事が多かったです。1・2・3年生の良いところ、あまり良くないところが分析されていて、またそれをどう自分の清掃に生かすともっと良くなるか、などもあってすごかったです。自分もまわりを見て、自分の清掃に足りないものを探しながら掃除していきたいです。

(1年生)

・3年生の先輩方は「自分は後輩より出来ていない」と書いていた人が多かったけど、実際そんなことはないと思います。もっと自問清掃と向き合って良い清掃にしたいという気持ちがあるんだと感じました。それを読んで私も先輩のように自問清掃と向き合いたいと思いました。

(2年生)

・継掃会によって、どの学年の人も、影響しあっていると思った。1年生の根気良いところだったり、2年生の気づく心だったり。僕も他の学年の人を見て、気づかされることもある。

自問清掃は「何年やってきたか」ではなく、「どれだけ自分と向き合ってきたか」が、その人の姿にあらわれるのだと思う。自分は、どんな人から見ても、自分と向き合っていることがわかるような清掃をしていきたいと思った。

(3年生)

自問清掃は「気づきの清掃」です。

自分と向き合って気づいたことの積み重ねが「自問の木」の年輪となり、

大きく成長していくのでしょ。

全校生徒467本の「自問の木」から種が落ち、芽を出し、

また新たな伝統へと続いていきます。

(文責：中野 未来)